

18歳意識調査 「第20回 -社会や国に対する意識調査-」 詳細版【アメリカ】

日本財団 2019年11月30日

目次

調査概要	3
自身について	5
解決したい社会課題	6
自分の国の将来について	7
自分の国が将来、どのような国になって欲しいか	8
どのようにして国の役に立ちたいか	9

調査概要 「18歳意識調査」 -社会や国に対する意識調査-

エリア アメリカ

調査対象 各国の17歳～19歳男女

回答数 1000名
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2019年9月27日（金）～10月10日（木）

調査手法 インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

詳細【アメリカ】

自身について

アメリカ

- ほとんどの人が「将来の夢を持っている」と回答。次いで、「自分は責任がある社会の一員だと思う」が88.6%と高い。そのほか、「自分の国に解決したい社会課題がある」79.4%、「自分を大人だと思う」78.1%、「社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している」68.4%、「自分で国や社会を変えられると思う」65.7%。
- いずれの項目も、男女で大きな差はみられない。

Q あなた自身について、お答えください。(n=1000)
(※各設問「はい」回答者割合)

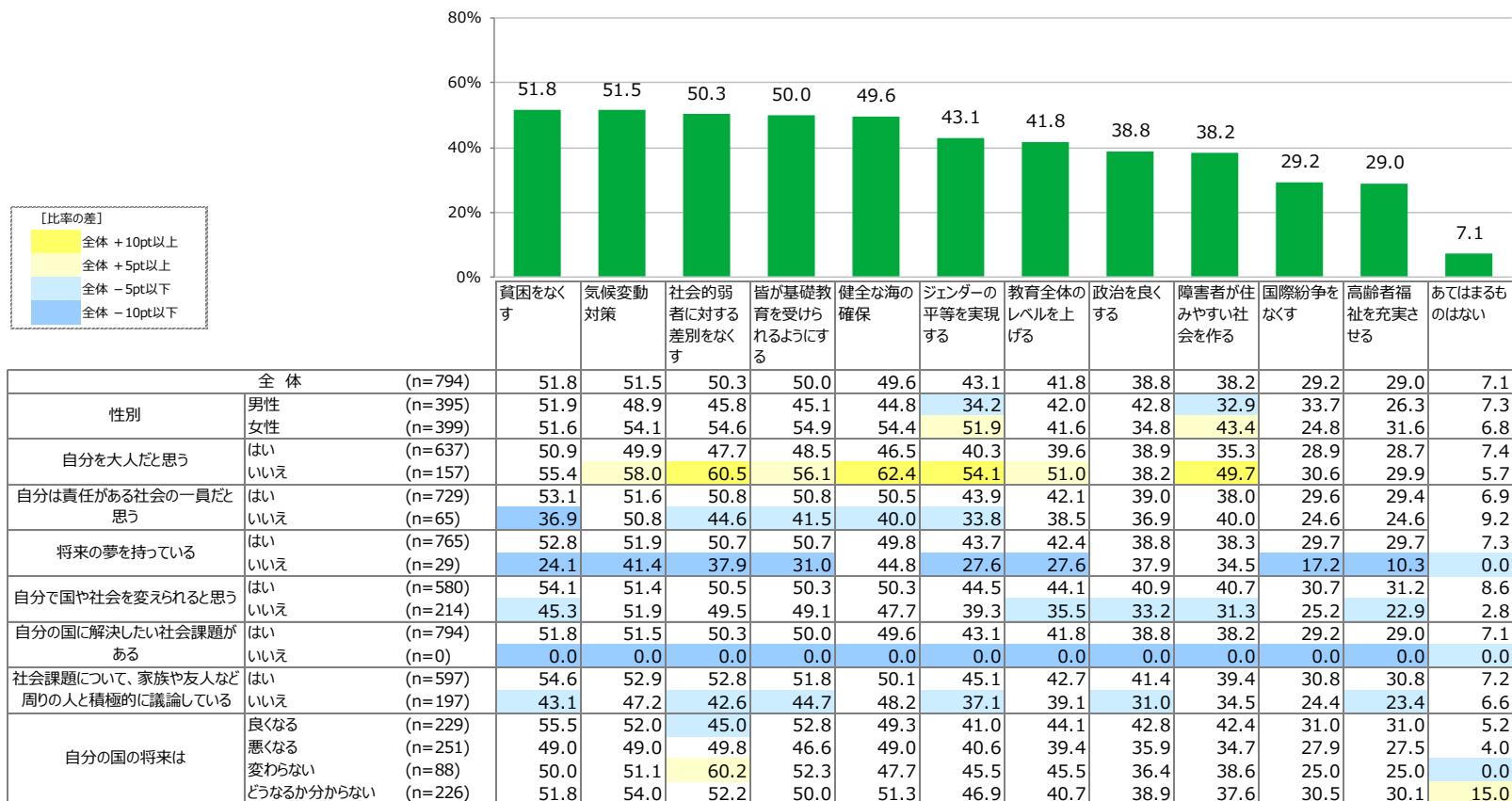
		自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
全体 (n=1000)		78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
性別	男性 (n=500)	80.2%	89.2%	92.4%	67.0%	79.0%	66.2%
	女性 (n=500)	76.0%	88.0%	95.0%	64.4%	79.8%	70.6%
自分を大人だと思う	はい (n=781)	100.0%	90.4%	95.4%	66.8%	81.6%	71.1%
	いいえ (n=219)	0.0%	82.2%	87.7%	61.6%	71.7%	58.9%
自分は責任がある社会の一員だと思う	はい (n=886)	79.7%	100.0%	95.5%	69.2%	82.3%	71.3%
	いいえ (n=114)	65.8%	0.0%	79.8%	38.6%	57.0%	45.6%
将来の夢を持っている	はい (n=937)	79.5%	90.3%	100.0%	67.7%	81.6%	70.1%
	いいえ (n=63)	57.1%	63.5%	0.0%	36.5%	46.0%	42.9%
自分で国や社会を変えられると思う	はい (n=657)	79.5%	93.3%	96.5%	100.0%	88.3%	76.4%
	いいえ (n=343)	75.5%	79.6%	88.3%	0.0%	62.4%	53.1%
自分の国に解決したい社会課題がある	はい (n=794)	80.2%	91.8%	96.3%	73.0%	100.0%	75.2%
	いいえ (n=206)	69.9%	76.2%	83.5%	37.4%	0.0%	42.2%
社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している	はい (n=684)	81.1%	92.4%	96.1%	73.4%	87.3%	100.0%
	いいえ (n=316)	71.5%	80.4%	88.6%	49.1%	62.3%	0.0%
自分の国の将来は	良くなる (n=302)	78.8%	89.4%	95.0%	77.2%	75.8%	71.9%
	悪くなる (n=296)	81.4%	88.5%	92.2%	58.8%	84.8%	71.3%
	変わらない (n=113)	82.3%	92.0%	96.5%	63.7%	77.9%	61.9%
	どうなるかわからない (n=289)	72.3%	86.5%	92.7%	61.6%	78.2%	64.4%

解決したい社会課題

- 解決したい社会課題は「貧困をなくす」(51.8%)が最多。次いで、「気候変動対策」(51.5%)、「社会的弱者に対する差別をなくす」(50.3%)が続く。
- 「ジェンダーの平等を実現する」「障害者が住みやすい社会を作る」は、女性が男性に比べて10pt以上高い。

■ 「自分の国に解決したい社会課題がある」回答者

Q あなたが解決したいと思っている社会課題は何ですか。(複数回答) (n=794)

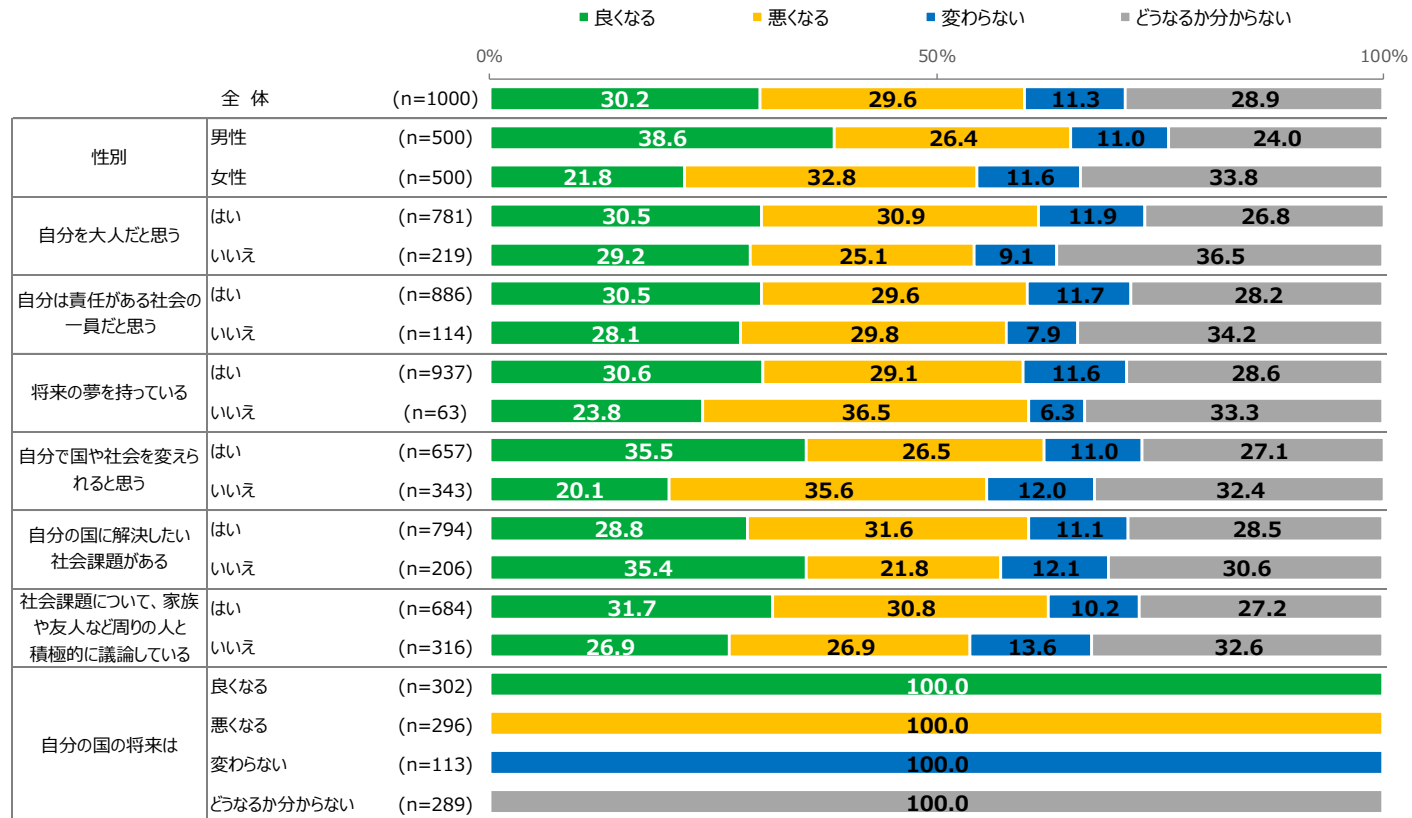


自分の国の将来について

アメリカ

- 「良くなる」30.2%、「悪くなる」29.6%、「どうなるか分からない」28.9%と意見が分かれた。
- 男性の方が女性に比べ「良くなる」と回答した人が多い。
- 先述の質問の「自分で国や社会を変えられると思う」で肯定した層は「良くなる」が35.5%と、否定層に比べて「良くなる」の割合が多い。

Q 自分の国の将来についてどう思っていますか。 (n=1000)

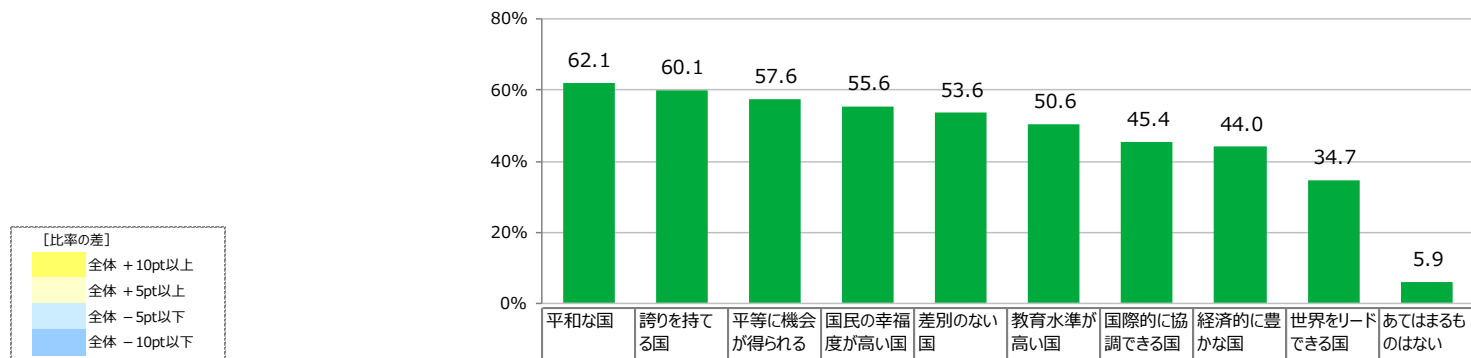


自分の国が将来、どのような国になって欲しいか

アメリカ

- 自分の国が将来どのような国になって欲しいかは、「平和な国」（62.1%）が最多。次いで、「誇りを持てる」（60.1%）、「平等に機会が得られる国」（57.6%）が続く。
- 男女で目立った差はみられない。
- 将来の夢を持っていない層は、「あてはまるものはない」が15.9%と、全体に比べて高い。

Q あなたは自分の国が将来、どのような国になって欲しいと思いますか。（複数回答）（n=1000）



		全体 (n=1000)	平和な国	誇りを持てる国	平等に機会が得られる国	国民の幸福度が高い国	差別のない国	教育水準が高い国	国際的に協調できる国	経済的に豊かな国	世界をリードできる国	あてはまるものはない
全 体		(n=1000)	62.1	60.1	57.6	55.6	53.6	50.6	45.4	44.0	34.7	5.9
性別	男性	(n=500)	58.8	59.8	54.4	54.8	49.4	49.8	48.0	47.2	39.0	5.0
	女性	(n=500)	65.4	60.4	60.8	56.4	57.8	51.4	42.8	40.8	30.4	6.8
自分を大人だと思う	はい	(n=781)	61.1	59.8	56.6	54.5	52.6	49.3	44.4	43.8	35.2	5.6
	いいえ	(n=219)	65.8	61.2	61.2	59.4	57.1	55.3	48.9	44.7	32.9	6.8
自分は責任がある社会の一員だと思う	はい	(n=886)	63.7	62.5	60.3	57.7	55.6	52.6	47.5	45.4	36.0	4.9
	いいえ	(n=114)	50.0	41.2	36.8	39.5	37.7	35.1	28.9	33.3	24.6	14.0
将来の夢を持っている	はい	(n=937)	62.8	61.7	59.4	57.0	55.3	52.1	46.5	44.9	36.2	5.2
	いいえ	(n=63)	52.4	36.5	30.2	34.9	28.6	28.6	28.6	30.2	12.7	15.9
自分で国や社会を変えられると思う	はい	(n=657)	62.7	61.5	58.9	56.8	56.9	53.6	48.1	47.6	38.4	4.9
	いいえ	(n=343)	60.9	57.4	55.1	53.4	47.2	44.9	40.2	37.0	27.7	7.9
自分の国に解決したい社会課題がある	はい	(n=794)	63.5	62.6	60.2	57.8	57.2	53.5	48.5	45.6	36.1	4.4
	いいえ	(n=206)	56.8	50.5	47.6	47.1	39.8	39.3	33.5	37.9	29.1	11.7
社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している	はい	(n=684)	62.6	60.4	58.9	58.8	55.6	53.4	48.1	45.6	36.4	5.1
	いいえ	(n=316)	61.1	59.5	54.7	48.7	49.4	44.6	39.6	40.5	31.0	7.6
自分の国の将来は	良くなる	(n=302)	57.3	59.6	56.3	55.3	51.3	50.7	49.0	47.4	39.1	2.3
	悪くなる	(n=296)	64.9	64.2	57.1	58.8	56.8	53.4	45.6	43.9	34.5	1.7
	変わらない	(n=113)	61.9	55.8	62.8	51.3	55.8	46.9	44.2	43.4	35.4	3.5
	どうなるか分からない	(n=289)	64.4	58.1	57.4	54.3	51.9	49.1	41.9	40.8	30.1	14.9

どのようにして国の役に立ちたいか

アメリカ

- どのようにして国の役に立ちたいかは、「学業に励み立派な社会人となる」(37.7%)が最多。次いで、「ボランティアをする」(35.8%)、「選挙を通じて政治に参加する」(31.0%)が続く。
- 「医療・看護・福祉分野などで働く」「子供達の教育に携わる」「ボランティアをする」は女性の方が男性に比べ10pt以上高く、男女で差がみられた。

Q あなたは、どのようにして国の役に立ちたいと思いますか。(複数回答) (n=1000)

